

職員による自己評価

A環境面

フロアのスペースや人員配置は適切ではあるが、スタッフが足りないと感じる日がある。

B児童への支援内容

打ち合わせは行われている。活動については更新が必要な物がある。

C関係機関との連携

保護者様との連絡は密に行われている。学校や他事業所との連携は今後深めていく必要がある。

D保護者への説明責任・信頼関係

保護者会の機会はないが、送迎時や面談などで情報の共有を図っている。

E非常対応

虐待防止研修や災害時避難訓練などを行っている。

保護者による評価

A環境面

活動スペースや人員配置は適切との回答が多い。

B児童への支援内容

活動内容や支援内容は適切との回答が多い。他事業所などの交流や衛生状況については不明とのことで未記入の方が多かった。

C事業所からの情報発信

事業所からの情報発信は十分行われているとの回答が多数でしたが、保護者会の開催を望む声がある。

D非常対応

災害時マニュアルの配布や訓練が行われている。

事業所内での分析

【共通点】

人員の配置は適切である。地域や他事業所との繋がり薄い。
事業所とご家族との情報の共有、連携は行われている。

【相違点】

他事業所などとの連携や衛生状況について不明との声がある。

分析・検討してみて…

事業所の強み

事業所と保護者様との連携は取れており、適切な支援に繋げて行く事が出来ている。利用児童も来所を楽しみにしており活動に満足していると思われる。

事業所の改善点

情報の発信としては足りない所もあり、更なる保護者様への発信が必要。
保護者会の開催を望む声がある。

事業所の改善への取り組み

活動内容や衛生面について様々な情報発信媒体を使い発信していく。
複数利用の児童に対して他事業所との情報共有や連携が出来るように連絡を取り合うようにしていく。
昨今の状況下では開催は難しい所ではあるが、保護者同士が意見を交換出来るような場所の提供を行いたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

事業所と保護者様との連携が思っていた以上に出来ているとの評価があった。今後も情報の共有、連携を密に行っていきたい。児童に「行くのが楽しみ」と思われるような活動を今後も行っていきたい。

事業所名 もみじのて KIDS 末吉店

担当者 野下 己鶴